

2015年（平成27年） 10月 705号

ロザリオの月

アダム・クジャク

カトリック教会の典礼で10月はロザリオの月とされています。

ロザリオの祈りは聖ドミニコに聖母マリアが現れ、教えてくださいました。マリア様は『宣教のため、そして大勢の人々を救いの恵みの源、即ちイエス様のところに引き寄せる一番よい方法として力強い祈りになる』と言われました。『無力になったら必ずロザリオを唱えなさい、そうすればあなたの願いが叶えられる』と勧めました。

1571年にギリシャのレパントという所でイスラム教はキリスト教圏であるヨーロッパを攻撃するようにオスマン帝国海軍を準備しました。その時ローマの教皇ピウス5世はヨーロッパを守るため、カトリック教会の信者みんなに、ロザリオを唱えるように願われました。

聖母マリアのご加護で天気が急変し、カトリック連合艦隊は大勝利を収めました。ヴェネツィア人達は、感謝の気持ちで礼拝堂を建て、そして次の言葉を聖堂の壁に書きました。「勇気、武器、司令官ではなく、ロザリオのマリア様は私たちに勝利を与えました。」

1986年のフィリピンでは、独裁者マルコス大統領は議会を解散させ、そして自分に反対する国民を逮捕し始めました。住民たちはハイメ・シン枢機卿にフィリピンの助けを願い求めました。シン枢機卿はラジオで「皆カトリック教会信者は道に出て、一緒にロザリオを唱えなさい」と呼びかけました。通りには約200万人集まり、そしてマルコス独裁政権を打倒するためにみんなで公にロザリオの祈りを唱えました。4日後に祈っている群衆を散らすために戦車が出てきましたが、しかしその兵士たちも群衆を打ち砕くどころか一緒にロザリオを唱えてきました。その後また集まった人々を催涙弾で散らそうとしたとき、突然風が反対側から吹き始めたので、誰もその害を受ける事はありませんでした。

マリア様は色々な所で「必要な恵みは全て与えることを約束します。そのためには熱心にロザリオを祈ればそれを得ることが出来ます。」と繰り返しておっしゃっています。

教会の歴史の中で神に選ばれた人たちの前にマリア様が現れたときは、いつもロザリオを唱えることを勧め、そして一緒に祈っていました。例えばルルドに現れたときも聖ベルナデットと共にマリア様はロザリオを祈っていました。

1917年にファティマで3人の子供たちの前にマリア様が現れたときも、一

緒にロザリオを唱えていました。そして「この祈りは世界を救い、罪人を回心させる力がありますので毎日ロザリオを唱えなさい」と彼女は子どもたちに教えました。

全生涯、悪魔と戦い続けた経験があった聖パドレ・ピオは『ロザリオは悪魔の力に打ち勝つ最も効果的な霊的な武器だ』と言われました。彼はどこに行ってもいつもロザリオを身に着けて静かに「アベ・マリア」を唱えていました。「常にロザリオを祈りなさい、この祈りのお陰で悪魔の攻撃は無駄になり敗北されます。全てのものの上に勝利が出来る聖母マリアのための祈りですから。」と言われました。マリア様を敬愛し、保護者となさった聖ヨセフ・カラサンスもエスコラピオス会の修道者に毎日ロザリオを唱えるように強く勧めています。

私たちも絶えずロザリオを唱えるように心がけましょう。